

「放送システムの技術的条件」のうち
「映像圧縮方式の高度化に関する技術的条件」に関する検討開始について

「放送システムに関する技術的条件」（諮問第2044号）のうち「映像圧縮方式の高度化に関する技術的条件」について、以下のとおり検討を進めることとする。

1. 検討の背景

我が国では、技術の進展に伴い、平成12年からBSデジタル放送、平成15年から地上デジタル放送を開始し、また平成30年には新4K8K衛星放送を開始するなど、新たな技術を順次導入していくことで、放送の高度化を実現してきた。

また、総務省では、平成31年度から「放送用周波数を有効活用する技術方策に関する調査検討（技術試験事務）」を開始するなど、放送用周波数の更なる有効活用を見据え、映像圧縮方式の高度化、変調方式の多値化及び偏波の活用をはじめとした、デジタル放送方式の高度化に関する技術的な検討を進めている。

これを受け、「放送システムの技術的条件」のうち「映像圧縮方式の高度化に関する技術的条件」について検討を開始するものである。

2. 検討内容

令和元年6月18日付け諮問第2044号「放送システムの技術的条件」のうち「映像圧縮方式の高度化に関する技術的条件」

3. 作業班の設置

本委員会での検討に資するため、別紙1の設置要綱及び別紙2の構成員案のとおり「地上デジタル放送高度化作業班」を設置する。

4. 今後の予定

別紙3のとおり。

地上デジタル放送方式高度化作業班の設置について

放送システム委員会における「放送システムに関する技術的条件」に関する調査について、地上デジタル放送方式を高度化するための技術の導入の検討に必要な情報を収集し、技術的条件の検討を促進させるために、「地上デジタル放送方式高度化作業班」を設置することとする。

1 作業班における調査事項

- (1) 映像圧縮方式の高度化に関する技術的条件に関する事項
- (2) 地上デジタル放送方式に関する技術的条件に関する事項
- (3) その他関連事項

2 作業班の主任及び構成員

別紙のとおり

3 作業班の運営等

- (1) 作業班の会議は、主任が招集する
- (2) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。
- (3) 主任代理は、主任不在のとき、その職務を代行する。
- (4) 主任は、作業班の調査及び議事を掌握する。
- (5) 主任は、会議を招集する時は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (6) 特に迅速な審議を必要とする場合であって、会議の招集が困難な場合、主任は電子メールによる審議を行い、これを会議に代えることができる。
- (7) 主任は、必要があるときは、会議に必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ、又は説明させることができる。
- (8) 主任は必要と認める者からなるアドホックグループを設置することができる。
- (9) 作業班において調査された事項については、各主任が取りまとめ、これを委員会に報告する。
- (10) その他、作業班の運営については、各主任が定めるところによる。

4 会議の公開

会議は、次の場合を除き、公開する。

- (1) 会議を公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合
- (2) その他、各主任が非公開とすることを必要と認めた場合

5 事務局

作業班の事務局は、情報流通行政局放送技術課が行う。

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会
地上デジタル放送方式高度化作業班 構成員**

(敬称略、構成員は五十音順)

| 氏 名 | 所属・役職 |
|---------------|---|
| 大槻 知明 (主任) | 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授 |
| 岩尾 洋英 | 株式会社フジテレビジョン 技術局 専任局次長 |
| 岩田 昭光 | 株式会社NHKテクノロジーズ ファシリティ技術本部 送受信センター ソリューション技術部 (公共業務) 専任部長 |
| 岡村 浩彰 | 株式会社テレビ朝日 技術局 次長 |
| 大久保 達也 | 一般社団法人電子情報技術産業協会 専門職調査役 |
| 齋藤 健太郎 | 東京工業大学 環境・社会理工学院 助教 |
| 斉藤 知弘 | 一般社団法人放送サービス高度化推進協会 技術部 部長 |
| 高田 仁 | 一般社団法人日本民間放送連盟 企画部 専任部長 |
| 高柳 宣治 | ソニー株式会社 スタンド&パートナーシップ部 メディアテクノロジー課 マネージャー |
| 土田 健一 | 日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部 研究主幹 |
| 中井 了一 | 一般社団法人電波産業会 研究開発本部 放送グループ 担当部長 |
| 中原 俊二 | 日本放送協会 技術局 計画管理部 エグゼクティブエンジニア |
| 沼尻 好正 | 日本アンテナ株式会社 事業戦略室 担当部長 |
| 浜口 清 | 国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 総合研究センター長 |
| 深澤 知巳 | 株式会社TBSテレビ メディア企画室 担当部長 |
| 藤井 雅弘 | 宇都宮大学大学院 工学研究科 情報システム科学専攻 准教授 |
| 藤高 丞士 | サン電子株式会社 受信機器開発部 副部長 |
| 松田 一朗 | 東京理科大学 理工学部 教授 |
| 森吉 達治 | 日本電気株式会社 放送・メディア事業部 第三技術部 マネージャー |
| 山影 朋夫 | 東芝インフラシステムズ株式会社 府中事業所 放送・ネットワークシステム部 主幹 |
| 山口 隆 | パナソニック株式会社 アプライアンス社 技術本部 DXDC運営企画部 技術涉外課 主任技師 |
| 山下 環 | 株式会社テレビ東京 技術局 次長 |
| 山本 英雄 | 日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 担当局次長 兼 技術戦略統括部長 |

当面のスケジュール（案）

| 年月 | 分科会・委員会 | 作業班 |
|------------|--|---|
| 令和元年 6月 | ○情報通信技術分科会【6/18】 ・新規諮問 | |
| 7月 | ○第68回委員会【7/8】 ・検討事項・進め方の確認、作業班設置 | |
| 8月～11月 | | |
| 12月 | | ○第1回作業班【12/26】 ・次世代地上デジタル方式の動向 ・映像符号化方式の規格化動向 ・要求条件（素案）の調査 |
| 令和2年 1月 | | ○第2回作業班【1月末頃】 ・要求条件（案）の調査 ・放送用周波数を有効活用する技術方策に関する調査検討について |
| 2月 | ○第※回委員会【2月頃】 ・要求条件（案）の検討 | ○第3回作業班【2月頃】 ・映像符号方式の最新状況調査 |
| 3月 | ↑ (方式の提案募集) ↓ | ○第※回作業班【3月頃】 ・映像符号化中間報告（案） |
| 4月 | ○第※回委員会【4月頃】 ・映像符号化中間報告（案）の検討 ・方式提案のヒアリング ・高度化方式の検討開始 | ○第※回作業班【4月頃】 ・方式提案に基づく、高度化方式の調査開始 |